

第7回「相米慎二監督映画祭り」開催記録

魅力発信、田子に眠る映画監督

第7回 相米慎二監督映画祭り

2022 8.20 (土)

青森県田子町
タブコピアプラザホール

13:00 開場
13:30 開演
13:30 主催者あいさつ、奥どろろ船介
13:40 映画上映「光る女」
16:00 トークショー
17:00 閉演

上映作品 光る女

トークショー
ゲスト

小川寛次 長沼大男 高橋 秋 榎戸耕文 山根義秀 寺田 農

相米慎二を語りつくす会主催
ゲストとの交流会(予定)

「可哀の想」を継ぐ者たち 青森県田子町
「可哀の想」を継ぐ者たち 青森県田子町
「可哀の想」を継ぐ者たち 青森県田子町

入場無料(整理券別途)
ただし、入場整理券が必要となります。
整理券は、当日会場にて配布いたします。
整理券の配布は、当日会場にておこなわれます。
整理券の配布は、当日会場にておこなわれます。



たっこまち
【青森県 田子町】

【会場・ロビー】 頂戴したメッセージや監督作品ポスター、遺族寄贈の貴重な資料などを展示しました。



【トークショー・抽選会】 撮影時のエピソードや相米監督にまつわるたくさんのお話が紹介され、お客様も大満足の様子でした。



【お墓参り】

相米監督の令兄 相米琢磨さんと関係者の皆様で相米慎二慰霊碑へ、相米監督の眠る墓前で静かに手を合わせました。



「光る女」上映 思い出語る 相米監督 映画祭り

田子



トークショーで相米監督にまつわるエピソードを話し合う俳優の寺田さん(左から2人目)ら

語ったほか、寺田さんは主演のプロレスラー・武藤敬司さんら出演者が決まるまでの裏話をたっぷり披露した。

撮影監督の長沼六男さん、映画美術デザイナーの小川富美夫さんと、フリーの助監督として相米作品を支えた映画監督の榎戸耕史さん、富樫森さんが登壇した。

会場には、今回のトークショー参加者や榎木孝明さん、中井貴一さん、鶴見辰吾さん、小泉今日子さん、世良公則さん、牧瀬里穂さんら、相米作品に関わった映画関係者のコメントや関係資料が飾られた。

「第7回相米慎二監督映画祭り」が20日、同監督ゆかりの田子町で3年ぶりに開かれた。会場では、同監督がメガホンを取った1987年公開の「光る女」(第1回東京国際映画祭ヤングシネマ大賞受賞作品)を上映。

俳優・寺田農さん、柄本明さんらゆかりの映画人が相米監督の思い出を語った。

会場のサブコピアンプラザホールには町内外から160人の観客が集まった。上映後のトークショーには俳優2人のほか、脚本家の田中陽造さ

ら、撮影監督の長沼六男さん、映画美術デザイナーの小川富美夫さんと、フリーの助監督として相米作品を支えた映画監督の榎戸耕史さん、富樫森さんが登壇した。

会場には、今回のトークショー参加者や榎木孝明さん、中井貴一さん、鶴見辰吾さん、小泉今日子さん、世良公則さん、牧瀬里穂さんら、相米作品に関わった映画関係者のコメントや関係資料が飾られた。

かつユーモアたっぷりと言及。また、専門家の中でも評価の分かれる「光る女」についてもそれぞれの見方を披露し、柄本さんが「この作品はよく分らないところが多い。うまくいかないことは、とても豊かなことなどと笑いを交えながら

相米監督は、父が同町出身。中央大中退後に映画の道に進み、「セーラー服と機関銃」など13作品を残し2001年9月、肺がんのため53歳で死去した。生涯独身を貫いたため、遺骨は同町にある先祖代々の墓に納められている。(珍田秀樹)